

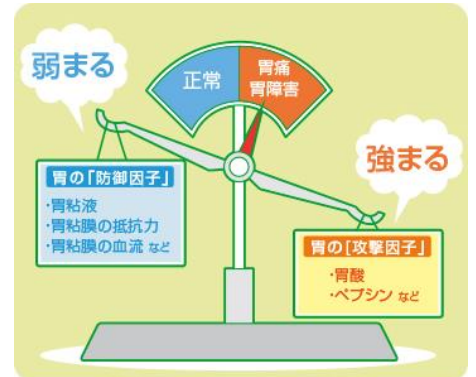
胃薬について

皆さんは胃痛や胃部不快感の経験があるでしょうか？
“食べ過ぎてしまった後に胃もたれする” “ストレスで胃がキリキリする”
といった経験をした人もいることと思います。このような胃の症状は胃酸過多が原因となっていることが多く、内服治療によって症状が改善する場合があります。今号ではこのような胃痛の仕組みについて紹介します。また、用いられる薬剤については代表薬の一覧表を作成しましたので参考にしてください。



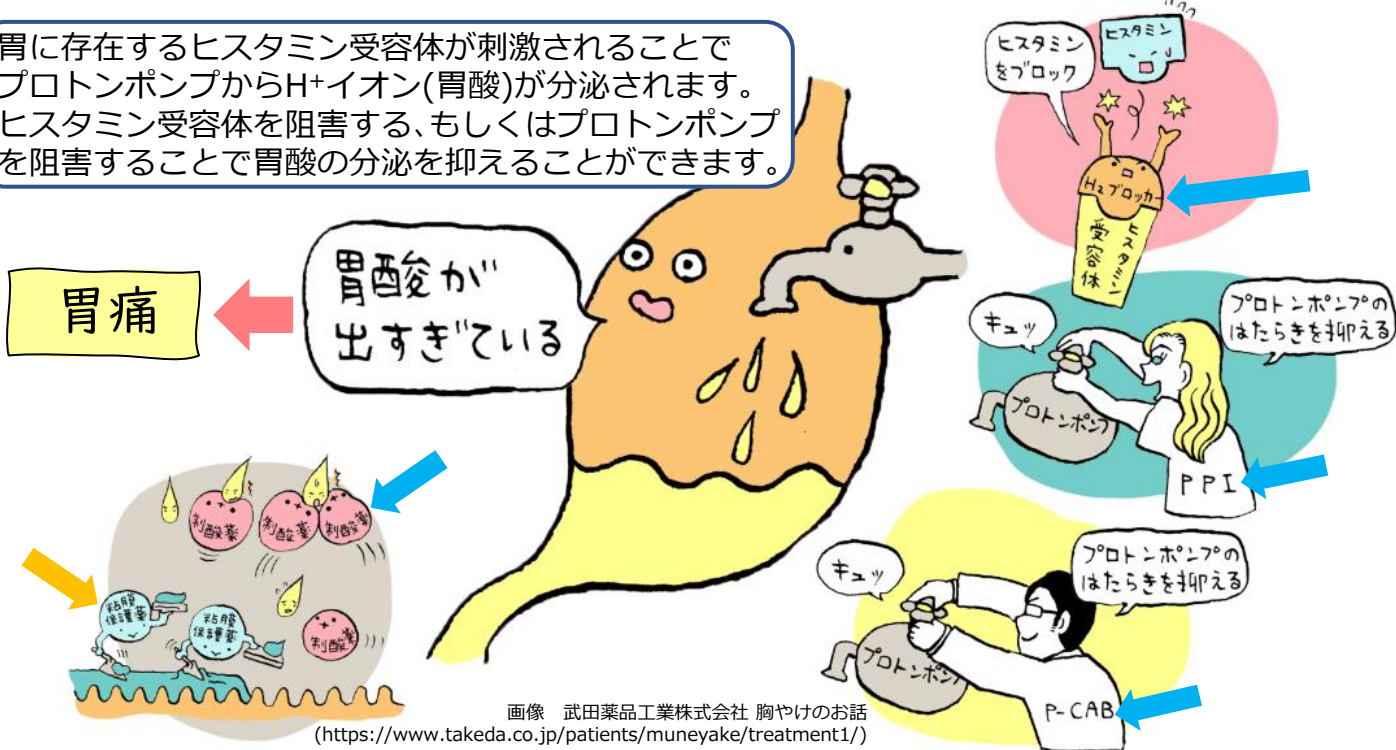
はじめに

胃炎や胃潰瘍などによる胃痛や胃部不快感は胃の「防御因子」と「攻撃因子」のバランスが崩れることで発生します。本来、胃は粘膜を守る「防御因子」と、それを攻撃する胃酸などの「攻撃因子」がバランスよく釣り合うことで健康な状態を維持しています。このバランスが何らかの要因で崩れると「防御因子」の働きが弱まり、「攻撃因子」の働きが強まります。その結果、胃酸が胃粘膜を傷つけることで胃痛や胃部不快感が起こります。上記の2つが胃痛の原因となっている場合は、“胃酸を抑える” もしくは“粘膜を保護する” ことで治療を行うことができるわけですね。



イメージ図
画像: エスエス製薬 > ガストール > 胃痛の原因と対策: 胃痛の原因 (https://www.ssp.co.jp/gastol/stomach/cause/) から引用

胃に存在するヒスタミン受容体が刺激されることでプロトンポンプからH⁺イオン(胃酸)が分泌されます。ヒスタミン受容体を阻害する、もしくはプロトンポンプを阻害することで胃酸の分泌を抑えることができます。



画像 武田薬品工業株式会社 胸やけのお話 (https://www.takeda.co.jp/patients/muneyake/treatment1/)

それぞれの薬は下記のように大別されます(イラストにて作用点を参照してください) (→) (→) (→)
攻撃因子抑制薬(胃酸を抑える)…PPI、PCAB、H2ブロッカー、制酸薬； (→)
防御因子抑制薬(粘膜を保護)…プロスタグランジン類、プロスタグランジン誘導製剤、抗ペプシン薬； (→)
それぞれの薬のまとめ表も同時にアップロードしておりますので参考にしてください